

# 佐倉市民オンブズマン情報 第64号

2014年 5月15日 発行：佐倉市民オンブズマン TEL&FAX043-485-5999

目次	
1頁	佐倉市政の問題点 ソーラー発電を自分で作ろう 反原発集会への参加 佐倉市民オンブズマンの 取組方針
2頁	定例議会概要 議員報酬及び活動事業 戦没者慰霊碑を考える 職員採用試験の問題点

## 佐倉市政の問題点

佐倉市政の問題点を指摘したい。市は誠実に市政に取組み、市民の生活向上に努力すべきである。

### ◆大震災への備え

東日本大震災から3年が経過するが、その爪痕はまだまだ深い。市民にとって今後の震災への備えは極めて重要である。

震災対策などの各地方自治体予算を確保するために、各地方自治体にも7.8%の給与減額を国は求めた。

佐倉市は給与減額に対し、国には「検討する」と回答しながら、検討もせず(左下の文書参照)、減額を行わなかった。国に虚偽の報告をしたと考

### ◆職員採用試験結果

市職員の採用試験の面接採点記録は保存されておらず、廃棄されている。

各採点者の採点記録は廃棄されているので、実際の合計点数が正しいことを証明する資料は無い。情報を開示して事務の正しさを示す対応が出来ていない。また、採用試験の事務局(総務部)から、採点者が選出されて採点している。事務の公正確保のためには問題である(裏面記事参照)。

### ◆職員給与

佐倉市民オンブズマンは特別職も含めた職員給与を毎回問題にしている。

東日本大震災に関する公務員給与の減額についての文書のうち、佐倉市での検討方法及び検討結果文書

公文書の件名	東日本大震災に関する公務員給与の減額についての文書のうち、佐倉市での検討方法及び検討結果文書
開示をしない理由	開示請求に係る文書は、作成しておらず、存在しないため。
所管課等	総務部総務課 電話 043-484-6104

給与を検討しなかった結果を示す文書(抜粋)

## ◆ソーラー発電を自分で作ろう

再生可能エネルギーの固定価格買取新年度単価が決まり、国のエネルギー基本政策では、原子力発電がベースロード(基幹発電)と位置付けられました。しかし、原発の発電単価は事故、廃棄物保管から割高になります。安価なソーラー発電を自分で作りましょう。



電力(kWh)の買取価格は12年度から税別で、40円、36円、32円(10kw未満は税込37円)と毎年下がってきています。しかし、固定価格制度を利用せずに電力会社に販売すると、10円未満(9円98銭)となり、まだまだ固定価格は高値です。既存発電所(石炭、ガス)の発電電力単価は現在約10円で、家庭での消費単価は基本料込みで30円程度です。それゆえ、20円は電力会社の発電以外の費用です。自宅のソーラー発電単価が30円になれば、電力会社からの購入単価と同一(グリッド・パリティ)になります。

ソーラー発電には個人での取組み(自分で組み立てる)も行われています。個人で、ソーラー発電を作りたいたいとお考えの方は、下欄にご連絡ください。一緒に勉強し、少しでも自力で発電し、原発が不要な社会を作りましょう。小型風力発電も身近になっていきます。

一方、電力会社の送配電網の整備を理由に、ソーラー発電買取開始時期が遅れています。送配電網の効率的な運用のために電力会社は整備内容の情報公開をすべきです。

これまで、官官接待の追及、税金の無駄遣い防止、職員給与の是正、入札改革、新庁舎建設反対、環境問題、原発問題、官民格差是正などに取り組んできました。今後も変わらずに次のように取り組んでまいります。

## 佐倉市民オンブズマンの取組方針

1. 人権保護
- ①市民の権利を確立し、市民主権を実現し、住民自治を進め人権を守る。
- ②自由、平等、平和を目指す。
- ③市民の幸福、安心を優先し、経済成長を最優先とはしない。
- ④住民からの相談に積極的に対応する。



代表 藤崎良次

2. 情報公開他
- ①情報公開を進め、税金を市民の生活向上のために使い無駄遣いを無くす。
- ②市の基金、市社協、商工会議所等の情報も公開する。
- ③議会の情報公開を進め、議会に調査委員会を常設する。
3. 格差是正
- ①官民格差、経済的格差、男女の格差等を無くしてゆく。
- ②公務員ポストは都度公募とする。
4. エネルギー
- ①持続可能なエネルギー政策を進め、脱原子力発電を実現し、環境を保護する。
5. 地方分権
- ①市民参加条例制定の検討をする。
- ②地方自治も比例代表制選挙を目指し、政治への参加者を増やす。
- ③勤労者も立候補できるように、議会は夜間、土日に開催する(平日の日中は開催しない)。そして、地方議員の姿(ボランティア等)に関し前向きに検討してゆく。

### ◆反原発集会への参加

最近の反原発集会には、大勢の人が参加し、日比谷公園、首相官邸前、国会議事堂周辺などで行われる。私達も3月9日の集会に、「佐倉市民オンブズマン」のノボリを掲げて参加した。そのノボリを見た何人もの方から、「佐倉から来たのですか?」と話しかけられ思わぬ交流が



国会議事堂前で

## オンブズマンとは

「行政苦情の解決や行政の適正運用、人権保護のために行動する人」です。各種の御相談は下記連絡先にどうぞ。一緒に活動できる方もご連絡ください。

定例議会(2月24日～3月25日)概要

市長提出議案は新年度一般会計予算、国民健康保険等6特別会計予算、下水道、水道事業会計予算、平成25年度一般会計等補正予算。条例関係では手数料への消費税増額が3件、「一般職員給与与一部改正」は55歳以上の定期昇給停止と昇給を2号給から1号給に抑制するもの、草ぶえの丘年間バスポート設定、市営住宅への入居者対象は交際相手からの暴力被害者も含める事などが提出された。陳情は議員の期末手当の廃止または減額等、議会のあり方に関するもの3件。(すべて不採択) 議員提出議案は議員政治倫理条例の一部改正、特定秘密保護法の廃止を求める意見書等5件の提出。(2件可決)

議会の議案から

①平成26年度一般会計予算

一般会計約473億円(H25年度当初予算比約50億円増)、6特別会計合計約314億円(下水道事業特別会計を除く前年度比23億円増)、合計約787億円(前年度比約10%増)と

なる。歳出中で構成比の高いものは民生費約37%(約177億円・国民健康保険特別会計、介護保険特別会計等への繰出経費、生活保護費等給付事業、後期高齢者医療広域連合負担金、保育園入園委託料等)、教育費約17%(約82億円・小中学校の耐震化費用、志津公民館整備、佐倉小給食室改修等)、総務費約17%(約60億円・本庁舎耐震補強工事、志津駅南口自転車駐車場耐震工事等)。

トピックス

③陳情「議会開催時等の交通費支給の廃止」 議員期末手当の廃止、または減額」「政務活動費の収支報告書の改良」

3件とも賛成少数で不採択となった。佐倉市民オンブズマンは全て賛成した(その理由は次欄参照)。

Table with columns for various council members and items, showing approval status (賛成, 賛成少数, 反対, 棄権).

議員 上ノ山 博夫... 賛成多数で可決された。しかし無駄な公共工事とされ、約3億円が国基準より高く支払われているので佐倉市民オンブズマンは反対した。今後、市民の利益のための予算執行がされるかしっかりと見ていく。

②「損害賠償額」の決定及び和解



議員 上ノ山 博夫

議員報酬及び活動事業 (予算年額3億円)

1 議会開催時の交通費の支給 現在、政務活動費(議員への補助金で年額一人48万円)では、ガソリン代50%の支給を認めている(個人利用を半分と仮定し50%の補助率)。議員は車通勤が多く、車通勤の場合には、結果的に交通費(電車代等)とガソリン代の二重払いになりやすい。

2 議員期末手当 (年額5850万円)

議員の期末手当(ボーナス)には、20%の割増がついている。この割増は法的にも根拠がなく支給は不要と考える。

3 政務活動費 (年額1296万円)

この政務活動費は、ガソリン代、新聞代、広報費などに使われている。公私の区別がつかにくい面もあり、交通費は二重払いとなりやすい。

4 議員への互助会費 (議員厚生事業として補助金年額20万円)

互助会費と称して、議会へは補助金が支出されている。議員は各会派・個人が意見を闘わず場所である。その議会で、仲良く互助会費を受け取れることは議会本来の趣旨から外れる。これは補助金であり、市への批判姿勢を弱めることにもなり、止めるべきだ。(市HPの予算書108頁を参照)

戦没者慰霊碑を考える

◆成田市では、S51年4月15日に、戦没者慰霊碑を宗吾霊堂内に寄付で建立し、戦没者名を刻んでいる。『この碑は郷土の英霊九百余柱を合祀すべく市民の総意をもって建立したものです。願わくば、英霊はこの地に永久に鎮まり給いわがふるさと成田を守護されると共に人類の理想とする世界恒久平和の顕現と邦家の隆盛と遺族の繁栄を加護されんことを』と記している。

◆一方、佐倉市に慰霊塔はあるが、慰霊塔は無く、その戦没者名を確認するのは難しい。

◆一方、佐倉市に慰霊塔があるから良いとの市答弁だが、戦没者名を銘記し、平和の継承を訴えることも考えるべきでしょう。無論、民間犠牲者にも配慮すべきです。憲法の解釈変更が言われている今、実際の戦争犠牲者进行、平和を考えましょう。



成田市 慰霊碑

◆佐倉市の職員採用試験の問題点

今年度採用の試験では、737人が受験し、43名が合格し倍率は17倍であった。試験は、一次(筆記試験)、二次(集団面接)、三次(最終個人面接)があり、総務部の人事班が事務局として担当している。採用は、新規採用ばかりでなく空きポストは都度公募すべきである。情報公開資料から問題点を指摘する。

①面接試験の各採点者の採点記録(面接評価票)が廃棄されており、各受験者の採点合計が正しいとの証拠書類が無い。 合否の基準である合計点数の正否の証明が出来ないので、文書管理規定上も問題であり、早急に改める必要がある。 ②総務部から面接採点者が何名か出ており、事務と採点が混同する可能性がある。 ③面接採点者は市職員からのみ出しており、職員にとって都合のよい採点になりやすい。 市民側からの採点者が必要である。

Table showing exam results for the 3rd round of interviews, including names, scores, and status (合格).

Table showing interview evaluation scores for various candidates.